

# 講演者プロフィール

パネルディスカッション 9月22日(木) 13:30～15:10 (第1会場(メイン))

「全老健が考える未来の“LIFE”～サービスの質の評価、次なる展開へ～」

座長 **大河内 二郎** (おおこうち じろう)

全国老人保健施設協会 常務理事



パネリスト **佐々木 広視** (ささき ひろし)

厚生労働省 老健局 老人保健課 課長補佐



**宝田 直也** (たからだ なおや)

全老健共済会 LIFE相談窓口



**塩原 貴子** (しおばら たかこ)

介護老人保健施設フェルマータ船橋 事務長代理



**松田 晋哉** (まつだ しんや)

産業医科大学 医学部 公衆衛生学 教授



**高橋 肇** (たかはし はじめ)

全国老人保健施設協会 常務理事



## 「新型コロナの現状と、これから話題となる感染症」

講演者 **勝田 吉彰** (かつだ よしあき)

関西福祉大学 教授



### 【略歴】

1961年京都府生まれ  
関西福祉大学教授

医局人事にしたがい大学病院・一般病院で臨床医として勤務後、英国オックスフォード大学Littlemore病院に留学。帰国後臨床医を経て、1994年外務省入省。

在スーダン日本国大使館勤務を振り出しに、在フランス・セネガル・中華人民共和国の各日本国大使館で計12年間の海外勤務。北京では2003年のSARS流行渦中で現地日本人社会へのリスクコミュニケーションの任務に取り組み、ここから感染症の情報発信に目覚める。

2006年3月、在中華人民共和国日本国大使館参事官兼医務官を最後に退官し、近畿福祉大学（現神戸医療未来大学）社会福祉学部教授を経て2012年4月より現職。

主な著書は「ドクトル外交官のスーダン見聞録」（世界の動き社）、「パンデミック症候群～国境を越える処方箋～」(エネルギーフォーラム新書)、「途上国進出の処方箋」（経団連出版）など。

専門は渡航医学とメンタルヘルス（海外赴任者の感染症およびメンタルヘルス）  
日本渡航医学会評議員

# 講演者プロフィール

教育講演Ⅱ

9月23日（金） 9:00～10:05（第1会場（メイン））

## 「(仮題) 新たな時代をいきぬくために」

講演者 **松田 晋哉**（まつだ しんや）

産業医科大学 医学部 公衆衛生学 教授



### 【略歴】

- 1960年 岩手県生まれ
- 1985年 産業医科大学医学部卒業
- 1992年 フランス国立公衆衛生学校卒業
- 1993年 京都大学博士号（医学）取得
- 1993年 産業医科大学医学部公衆衛生学 講師
- 1997年 産業医科大学医学部公衆衛生学 助教授
- 1999年 産業医科大学医学部公衆衛生学 教授

### 【専門領域】

公衆衛生学（保健医療システム、医療経済、国際保健、産業保健）

### 【主要著書】

1. 基礎から読み解くDPC第3版（2011） 医学書院
2. 医療の何が問題なのかー超高齢社会日本の医療モデル（2013） 勁草書房
3. 欧州医療制度改革から何を学ぶか（2017） 勁草書房
4. 地域医療構想のデータをどう活用するか（2020） 医学書院
5. ビッグデータと事例で考える日本の医療・介護の未来（2021） 勁草書房

### 【主な委員会】

- ・内閣府 経済・財政諮問会議専門委員
- ・厚生労働省 社会保障審議会（介護給付費分科会）委員
- ・厚生労働省 社会保障審議会（医療部会）委員

# 講演者プロフィール

シンポジウムと研究事業報告 9月23日(金) 10:10～12:00 (第1会場(メイン))

## 「防げない転倒、防げる転倒 施設の対応はどうする？」

座長 **平川 博之** (ひらかわ ひろゆき)

全国老人保健施設協会 副会長



シンポジスト **大河内 二郎** (おおこうち じろう)

全国老人保健施設協会 常務理事



**佐々木 薫** (ささき かおる)

日本認知症グループホーム協会 常務理事



**外岡 潤** (そとおか じゅん)

法律事務所おかげさま 弁護士



**山野 雅弘** (やまの まさひろ)

介護老人保健施設紀伊の里 施設長



**楽木 宏実** (らくぎ ひろみ)

日本老年医学会 理事



# 講演者プロフィール

トークショー

9月23日（金） 13:20～14:50（第1会場（メイン））

## 「自己と組織の育成法：梨田流コミュニケーション術」

講演者 **梨田 昌孝**（なしだ まさたか）

野球評論家



### 【略歴】

1953年島根県生れ。

1972年ドラフト2位で近鉄バファローズに入団。強肩捕手として活躍する一方、独特のスタイルでバッティングのタイミングをとる「コンニャク打法」で人気を博す。

現役時代は、リーグ優勝2回を経験し、ベストナイン3回、ゴールデングラブ賞4回を受賞した。1988年に現役引退。

2000年に大阪近鉄バファローズの最後の監督に就任。2001年には、前シーズンに最下位だったチームをリーグ優勝へと導いた。

2008年から2011年は、北海道日本ハムファイターズの監督としてチームを率い、2009年にリーグ優勝とクライマックスシリーズ優勝を果たす。その後は、NHKのプロ野球解説、日刊スポーツ野球評論家として活躍し、2013年にはWBC日本代表野手総合コーチを務めた。

2016年から2018年まで東北楽天ゴールデンイーグルスの監督としてチームの指揮を執り、2017年シーズンはクライマックスシリーズに進出している。3球団での監督通算成績は、805勝776敗である。

## 「遊ビリテーションが自立支援（生活づくり）を促進する！」

講演者 **上野 文規**（うえの ふみのり）

『元気の素』 Co. Ltd.  
（介護総合研究所 元気の素） 代表  
セミナー講師  
発明家  
介護空間プロデューサー  
経営コンサルタント 等



### 【略歴】

厚生労働省：

- ◎『介護保険』福祉用具・住宅改修評価会構成委員
- ◎老人保健健康増進等事業 介護保険調査研究事業委員
- ・介護現場での自立支援促進に資するマニュアル作成事業
- ・通所系サービスにおける入浴介助のあり方に関する調査研究事業

専門は『地域ケア論』と『ケースマネジメント』  
（『遊ビリテーション』の第一人者としても有名）

人間生理学に基づいた、介護の新しい考え方と介助技術、さらにそれらを具現化する新発想の機器（FUNシリーズ）と、空間づくり（設計監修）を提案・実現するために、介護総合研究所『元気の素』を設立し代表を務める。

主な活動は、全国を講演・現場指導、人間工学に基づいた生活用品の発案、そして介護施設の開設準備にともなう「ひと・もの・はこ」の総合プロデュースや、施設などの新築・改築の設計・施工の監修及び、コンサルタント等と幅広い。

コンサルティング事業の一環である「経営指導」も、独自の理論で“役所的”と言われている介護界に費用対効果をもたらしており、また人材育成では介護技術のみならず、組織リーダー論は元より、自らの“ストイックな仕事理論”である「カッコいい大人論！」も取り入れ、個人・組織のレベルアップをはかり好評を得ている。

# 講演者プロフィール

教育講演Ⅲ

9月23日（金） 10:45～12:00（第2会場）

## 「高齢者を災害に強くする災害文化」

講演者 **河田 恵昭**（かわた よしあき）

関西大学社会安全学部特別任命教授  
（チェアプロフェッサー）  
社会安全研究センター長  
工学博士  
京都大学名誉教授



### 【略歴】

専門は防災・減災・縮災。現在、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター長（兼務）のほか、京大防災研究所長を歴任。京都大学名誉教授。

2007年国連SASAKAWA防災賞、09年防災功労者内閣総理大臣表彰、10年兵庫県社会賞受賞、14年兵庫県功労者表彰、16年土木学会功績賞、17年アカデミア賞、18年神戸新聞平和賞受賞。日本自然災害学会および日本災害情報学会会長を歴任。

### 【著書】

- 『これからの防災・減災がわかる本』（岩波ジュニア新書）
- 『スーパー都市災害から生き残る』（新潮社）
- 『12歳からの被災者学—阪神・淡路大震災に学ぶ78の知恵』（共著）（NHK出版）
- 『津波災害』（岩波新書）
- 『にげましょう』（共同通信社）
- 『津波災害（増補版）』（岩波新書）
- 『災害文化を育てよ、そして大災害に打ち克て 河田恵昭自叙伝』（ミネルヴァ書房）など。